（２）財政状態に関する分析

① 資産、負債、資本の状況

（単位：億円）

	2013年度末	2014年度末	前年度末比
資産合計	31,059	32,711	1,651
負債合計	24,079	23,367	△712
資本合計	6,979	9,343	2,364
親会社所有者帰属持分（自己資本）	5,665	7,900	2,235
（利益剰余金）	（△543）	（1,307）	（1,850）
（その他の資本の構成要素）	（631）	（1,018）	（386）

〔ご参考〕

現金及び現金同等物	3,011	3,620	608
有利子負債	5,602	5,784	182
ネット有利子負債	2,590	2,164	△426
Ｄ／Ｅレシオ	0.99 倍	0.73 倍	△0.26 倍
ネットＤ／Ｅレシオ	0.46 倍	0.27 倍	△0.19 倍
親会社所有者帰属持分比率（自己資本比率）	18.2 ％	24.2 ％	6.0 ％

当年度末の資産合計は3兆2,711億円と、前年度末から1,651億円増加しました。現金及び現金同等物や売上債権が増加しました。

負債合計は2兆3,367億円と、前年度末から712億円減少しました。仕入債務や運転資金の一部を借入金で調達したことにより有利子負債は増加しましたが、年金資産の運用改善により確定給付制度の積立状況が改善したことにより退職給付に係る負債が減少しました。

資本合計は9,343億円と、前年度末から2,364億円増加しました。当期利益の計上や確定給付制度の積立状況が改善したことによります。なお、親会社所有者帰属持分比率（自己資本比率）は24.2%と前年度末から6ポイント増加しました。

② キャッシュ・フローの状況

（単位：億円）

	2013年度	2014年度	前年度比
Ⅰ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,765	2,801	1,036
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,289	△2,005	△715
Ⅰ＋Ⅱ フリー・キャッシュ・フロー	475	796	320
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△462	△173	288
Ⅳ 現金及び現金同等物の期末残高	3,011	3,620	608

〔ご参考〕

キャッシュ・フロー対有利子負債比率	3.2年	2.1年	△1.1年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	26.9倍	46.9倍	20.0倍

（注）キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債÷営業キャッシュ・フロー
インタレスト･カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ･フロー÷支払利息

当年度の営業活動によるキャッシュ・フローは2,801億円のプラスと、前年度からは1,036億円の収入増となりました。税引前利益の改善に加えて、ＬＳＩ事業及び海外事業等に係る事業構造改善費用の支払いが減少しました。また、前年度における国内子会社からの配当金に係る源泉所得税の還付などにより法人所得税の支払額が減少しました。

投資活動によるキャッシュ･フローは2,005億円のマイナスと､前年度からは715億円の支出増となりました。ＬＳＩや電子部品などの設備投資の増加に加え、前年度には売却可能金融資産の売却による収入やＬＳＩのマイコン・アナログ事業などの譲渡収入があったことによります。

フリー・キャッシュ・フローは796億円のプラスと、前年度からは320億円の収入増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは173億円のマイナスとなりました。前年度から288億円の収入増となりました。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は前年度末から608億円増加し、3,620億円となりました。

③ 年金の状況

（単位：億円）

	2013 年度末	2014 年度末	前年度末比
a．確定給付制度債務	△22,755	△24,843	△2,088
b．制度資産	18,648	21,808	3,160
c．確定給付負債（資産）の純額（a）＋（b）	△4,107	△3,035	1,071
（確定給付制度債務の計算の基礎に関する事項）			
割引率　国内	1.1%	0.7%	△0.4%
海外（主に英国）	主に 4.4%	主に 3.4%	△1.0%

（3）２０１５年度の業績見通し

売上収益はサービス事業の拡大により、テクノロジーソリューションを中心に、2014 年度から 2%増の 4 兆 8,500 億円を計画しています。

営業利益は 1,500 億円の計画です。足もとで米ドルに対するユーロ安が進んだことにより、パソコンなどユビキタスソリューションを中心に米ドル建ての部材調達コストの上昇影響を織り込んだほか、ビジネスモデルの変革を加速させるための戦略投資も織り込んでいることから、2014 年度に比べ 286 億円減益となる見込みです。

親会社の所有者に帰属する当期利益は 1,000 億円を計画しています。

なお、為替レートの前提は、米ドル 110 円、ユーロ 125 円、英ポンド 175 円を想定しています。

［通期］　（単位：億円）

	2014 年度（実績）	2015 年度（予想）	前年度比	増減率(%)
売上収益	47,532	48,500	967	2.0
営業利益	1,786	1,500	△286	△16.0
（営業利益率）	（3.8%）	（3.1%）	（△0.7%）	
親会社所有者帰属当期利益	1,400	1,000	△400	△28.6
＜売上収益　セグメント別内訳＞				
テクノロジーソリューション	33,028	33,600	571	1.7
ユビキタスソリューション	10,628	10,500	△128	△1.2
デバイスソリューション	5,956	6,200	243	4.1
その他／消去又は全社	△2,080	△1,800	280	－
＜営業利益　セグメント別内訳＞				
テクノロジーソリューション	2,224	2,350	125	5.6
ユビキタスソリューション	87	0	△87	△100.0
デバイスソリューション	369	300	△69	△18.8
その他／消去又は全社	△895	△1,150	△254	－